



高校1年生 性教育講話を開催しました！

講師：鈴木秀文先生（福井愛育病院院長・産婦人科医）

タイトル：「高校生の性と生」概要を紹介します。



高校生の皆さんは、近い将来、恋愛し、結婚し、子どもを持つことができる発達段階にあります。性＝生といっても過言ではないくらい、性に関することは、人生にとって、非常に大切なことです。しかし、皆さんは、性について、どれくらい知っていますか？性について考えてみたことはありますか？高校生にとって大切なことはなんでしょう？産婦人科医の鈴木先生から、高校生の皆さんへの熱いメッセージです。

子どもがほしくない理由^a

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
育てるのが大変そう	2	2.2	13.3	13.3
早すぎてわからない	4	4.5	26.7	40.0
怖い不安	1	1.1	6.7	46.7
必要ない	1	1.1	6.7	53.3
子どもは嫌い	1	1.1	6.7	60.0
イメージがわからない	4	4.5	26.7	86.7
夫婦ふたりだけが希望	1	1.1	6.7	93.3
その他	1	1.1	6.7	100.0
合計	15	16.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	74	83.1	
合計		89	100.0	

a. 性別=男

子どもがほしくない理由^a

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
無理だと思う	4	4.5	10.5	10.5
育てるのが大変そう	7	8.0	18.4	28.9
産むのが嫌	5	5.7	13.2	42.1
早すぎてわからない	6	6.8	15.8	57.9
怖い不安	1	1.1	2.6	60.5
結婚したくないから要らない	5	5.7	13.2	73.7
子どもは嫌い	2	2.3	5.3	78.9
イメージがわからない	4	4.5	10.5	89.5
その他	4	4.5	10.5	100.0
合計	38	43.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	50	56.8	
合計		88	100.0	

a. 性別=女

「異性に興味がない」「将来結婚したくない」「将来子どもがほしいと思わない」高校生とは？

事前アンケートの結果では、男子の8割、女子の6割が「異性に興味がある」と答え、「将来結婚したいと思う」人は男子では8割、女子では6割。「将来子どもがほしい」人は男子で8割、女子で6割弱となっています。男子の方が大いに興味ありで、女子は関心薄。実際、「男性は結婚したいけどできない」「女性は結婚したくないからしない」という状況があります。また、「性についてのイメージ」は…

男子…・異性との恋愛 ・思春期の男子 ・はずかしい感じ ・暴力、醜い、愛、恐怖 など
女子…・LGBTQ ・むずかしそう ・恋愛 ・あまり触れられたくない ・妊娠 などなど

人は自分が知らない、わからない未知のことには不安が生じて、積極的になれないことがあります。

「性」については知らないことばかり。皆さんの疑問に先生が回答していただきました。

「初体験してもいい年齢は何歳ですか？」

○選挙権は 18 才から OK ○車の運転は 18 才から OK ○酒・たばこは 20 才から OK
では…？

性において大切なのは、お互いの異性を尊重すること。
男性は女性を、女性は男性を尊重し、相手の心や体を
傷つけないようにすることが大切。
それができない人は、30 才になっても 40 才になっても
その資格はない

高校生の間でも、「デート DV」が問題となっています。性に関するコミュニケーションは、本来、愛情に満ちた幸福なものであるはずですが、お互いが愛と幸福を感じる関わりには、「平等な立場における双方の合意」が基盤となります。それは、異性間だけでなく同性間でも同じです。

どちらか一方が少しでも否定的な思いを抱く場合は、幸せな関わりを持つことはできません。相手が「NO」を示しているのに強行することは、「性暴力」「ハラスメント」であることを忘れないでください。これは、夫婦やカップルの間においても同じです。「つきあっているんだから、いいだろう」「あいつは、オレのことが好きだからいいだろう」は間違いです。状況によっては、犯罪とみなされることもあります。

そして、大切なことは、相手の「NO」を察知する思いやりをもつことです。相手は、言葉で「NO」と言ってくれるとはかぎりません。サインを見逃さないことが重要です。

「100%成功する避妊方法がありますか？」

答えはノーです。どんな避妊方法でも、失敗して妊娠することがあります。
お互いの合意があつて、幸福な関係であっても、妊娠したら…のリスクが伴います。
これは、大人になって、結婚して夫婦になっても同じです。産婦人科では、計画的に
妊娠・出産をするためには、男性だけでなく、女性主体の避妊方法も検討します。
それでも、完璧ではありません。高校生はこの事実を知っておく必要があります。

それでも困った時は、迷わず、周りの大人に相談してください。

「妊娠 SOS（一般社団法人全国妊娠 SOS ネットワーク）」なども活用してください。

しかし、一方で、こんなことも知っておいてほしい。将来に向けて。

年齢が上がるほど、妊娠は難しくなり、体外受精の成功率もさがるということを知っておいてほしい。

・人間の寿命は延びているが、生殖可能年齢は延びていない。

「30 代のうちは夫婦だけの時間を大切に、40 才になってから子どもを作る。」「仕事を続けたいから、今は結婚を考えたくない。40 才になってから考える」「できなかつたら、体外受精すればいい」と考えている人がいるけれど、大まちがい。

年齢が上がるほど、妊娠は難しくなり、体外受精の成功率もさがるということを知っておいてほしい。アンケートでは、「将来子どもがほしい」という女子が 6 割いました。（年々、少なくなっているのが気になります）高校生の今から、この事実を知っておく必要があります。不妊治療に訪れる人に、先生がこの話をすると、「高校生のときにこの話を聞いていたら、人生設計を変えていたのに…」という人がいるそうです。みなさんはラッキーでした。じっくりと将来に向けてのライフプランを考えてみましょう。